

# 目 次

## 文化経済学会＜日本＞2014年度松山大会

### ≪凡例≫

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

①-A 文化価値と文化財	●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕之 <sup>1</sup>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">タイトル</th> <th style="width: 30%;">発表者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくろいに関する研究<sup>1</sup></td> <td style="padding: 5px;">藤原 恵洋</td> </tr> </tbody> </table>	タイトル	発表者	文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくろいに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋	
タイトル	発表者				
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくろいに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋				

### 分科会 ①

#### ①-A 文化価値と文化財 ●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕之<sup>1</sup>／中谷 武雄<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくろいに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋	10
古民家の創造的再生 —文化資源活用とクラウドファンディングを中心に <sup>1</sup>	山崎 茂雄	12
ジョン・ラスキンの固有価値論と経済的価値概念について <sup>2</sup>	橘高 彫斗	14

#### ①-B 文化財保護 ●座長：藤野 一夫 ●討論者：勝浦 正樹<sup>1</sup>／鈴木 茂<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
台湾における文化遺産の保存と活用に関する研究 —1982年～2012年を中心に— <sup>1</sup>	柯 勝釗	18
文化財保護政策における木材生産・調達支援の必要性 —林業経済学の視点から— <sup>1</sup>	峰尾 恵人	20
歴史的町並み保全のための財政支出分析 —長野県長野市の松代地区を事例に— <sup>2</sup>	吉村 武洋	22

①-C 東アジアの文化産業

●座長：澤村 明 ●討論者：川崎 賢一<sup>1</sup>／草加 叔也<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
中国の文化産業集積区の現状と課題 <sup>1</sup>	岩本 洋一／ 浦川 康弘 王 彦風	26
北京の文化創意産業の一翼を担う「小劇場文化」の成立と展開 ～中国における創意産業の発展に関する研究 その2～ <sup>1</sup>	馬 麗娜	28
韓国の都市政策におけるコミュニティ誘発型創造都市事業の評価と課題 —釜山市甘川文化村を事例として <sup>2</sup>	張 慶彬	30

①-D アートプロジェクト

●座長：佐々木 雅幸 ●討論者：後藤 和子<sup>1</sup>／熊倉 純子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
デザインコミュニティによるデザインイベントの可能性： 大阪市とサンホセ市の事例から <sup>1</sup>	鈴木 美和子	34
旧産炭地の矜持醸成に貢献する芸術文化活動の意義 ～大牟田市教育委員会主催「九州青年美術公募展」への参与調査を通して～ <sup>2</sup>	國盛 麻衣佳	36
アートプロジェクトの意義に関する研究 —芸術創造と公共政策の共創の観点から— <sup>2</sup>	谷口 文保	38

分科会 ②

②-A 文化政策

●座長：草加 叔也 ●討論者：野田 邦弘<sup>1</sup>／小林 真理<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
地域における文化・芸術の政策とその運営に関する研究 財団と事業団の事業内容を対象として <sup>1</sup>	林 宰寛	42
主要歌劇場のファンド・レイジングにおけるパラダイムシフト <sup>1</sup>	佐藤 敦子	44
文化条例のモデルの提示と望ましい制定手法の検証 —制定過程及び効果・課題に関する比較を通して— <sup>2</sup>	吉田 隆之	46

②-B まちづくり

●座長：太下 義之 ●討論者：川井田 祥子<sup>1</sup>／増淵 敏之<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
地域社会における創造的人材の流入 ～熊本県菊池市における移住者の姿より～ <sup>1</sup>	佐藤 忠文	50
地域振興における領域横断性と文化志向性 —群馬県の事例にみる新しい組織論的特性の分析— <sup>1</sup>	友岡 邦之	52
「場」から「創造の場」へのアプローチによる地域活性化に関する研究 —街区公園を活用した「アワザサーカス」(大阪市西区)の取り組みを中心に <sup>2</sup>	上野 信子	54

## ②-C 創造都市

●座長：有馬 昌宏 ●討論者：藤原 惠洋<sup>1</sup>／佐々木 雅幸<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
文化空間の意味拡張と地域再生としてのその役割 <sup>1</sup>	金 泰勳	58
創造都市と人材マグネット都市の評価指標 <sup>2</sup>	朝田 康禎	60
創造都市の再考察 —ガバナンス論・プロセス論を中心に— <sup>2</sup>	渡部 薫	62

## ②-D 伝統文化・芸能・美術

●座長：八木 匡 ●討論者：伊藤 裕夫<sup>1</sup>／河島 伸子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
芸の継承 —京都北野上七軒における花街舞踊の危機を中心に— <sup>1</sup>	中原 逸郎	66
和菓子の需要機会と職人文化の持続性 ～工芸論の視角より～ <sup>1</sup>	森崎 美穂子	68
日本における美術品購入の現状と市場規模拡大に向けた課題 <sup>2</sup>	綿江 彰禎	70

## 分科会 ③

### ③-A 調査と実証

●座長：勝浦 正樹 ●討論者：米屋 尚子<sup>1</sup>／有馬 昌宏<sup>2</sup>／八木 匡<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
学生の主体的芸術活動および稽古事の経験が実演芸術ならびに視覚芸術の鑑賞行動に及ぼす影響に関する予備的研究 <sup>1</sup>	有馬 昌宏	74
Determinants of Movie Review Ratings —New method by using Big Data — <sup>2</sup>	八木 匡	76
光トポグラフィーを用いた脳科学的研究の文化への応用 <sup>3</sup>	牧 和生	78

### ③-B 映像産業

●座長：吉本 光宏 ●討論者：後藤 和子<sup>1</sup>／増淵 敏之<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
日本映画の海外販売戦略 <sup>1</sup>	大島 絹衣	82
映画都市・京都の新たな展開についての考察 <sup>1</sup>	萩原 雅也	84
地方における独立系小規模映画館経営の事例研究 <sup>2</sup>	金井 秀介	86
地域活性化装置としての地方テレビ局の役割 <sup>2</sup>	岩崎 達也	87

③-C 文化施設と地域振興

●座長：佐々木 亨 ●討論者：片山 泰輔<sup>1</sup>／太下 義之<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
先導的図書館アウトリーチの評価と課題 ～佐賀県における伊万里市図書館と武雄市図書館の比較検証を通して～ <sup>1</sup>	岩井 千華	90
東日本大震災における公共文化施設の再開プロセスにみる災害対策と運営指針 <sup>2</sup>	坂口 大洋	92
芸術系大学と地域産業の連携 —金沢美術工芸大学と鯖江市めがね産地 <sup>2</sup>	本田 洋一	94

③-D NPO と地域活性化

●座長：川井田 祥子 ●討論者：友岡 邦之<sup>1</sup>／曾田 修司<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
アートを核としたコミュニティが構成メンバーにもたらすエンパワメントについて ～札幌の「OYOYO」の事例から～ <sup>1</sup>	加藤 康子	96
芸術による町の活性化 —NPO 法人の活動を通じて— <sup>1</sup>	菅井 徹郎	98
地域活性化活動における利害対立と NPO の役割 <sup>2</sup>	高島 知佐子	100